

2019年度第2回函館競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 八雲特別

八雲（やくも）は、北海道南西部、渡島半島北部にある町。遊楽部川下流の八雲平野は北海道の酪農先進地域である。また、北海道を代表する土産品「木彫りの熊」発祥の地でもある。

○ 五稜郭ステークス

五稜郭（ごりょうかく）は、函館市にある日本で最初の西洋式平城跡の通称。名は、外形が星のような五稜形をしていることに由来する。現在は五稜郭公園として整備されており、桜の名所としても有名。

○ 噴火湾特別

噴火湾（ふんかわん）は、内浦湾の別称。渡島半島に三方を囲まれた円形の大きな湾で名は周囲に活火山が多いことに由来する。イルカ、ホエールウォッチングが楽しめることで有名。また、ホタテ貝の養殖やサケ、スケトウダラ漁が盛ん。

<第2日>

○ 立待岬特別

立待岬（たちまちみさき）は、函館山南麓にある岬。かつては異国船を監視する要所であった。岬に至る山道には石川啄木一族の墓があり、またその先には宮崎郁雨、与謝野鉄幹・晶子夫妻の歌碑がある。好天時には、津軽海峡を一望する絶景を見ることが出来る。

○ デルマーサラブレッドクラブ賞マリーンステークス

本競走は、デルマー競馬場との間で実施される交換競走。

デルマー競馬場は、アメリカ合衆国カリフォルニア州デルマーに位置するアメリカを代表するリゾート競馬場。函館競馬場と同様、スタンドから海を臨むことができる。

マリーン（Marine）は、「海の」「海で産する」「航海用」を意味する英語。

○ かもめ島特別

かもめ島は、北海道南西部、江差町にある海拔20m、周囲約2.6kmの小島。名は、かもめが羽を広げたように見えることに由来する。檜山道立自然公園の特別区域に指定されており、海水浴・釣り・キャンプなどを目的とした観光客が多く訪れる。

＜第3日＞

○ 臥牛山特別

臥牛山（がぎゅうざん）は、函館山の別称。標高 334m。名は、牛が寝そべっているように見えることに由来する。亀田半島との間に陸繁島を形成し、南端に大鼻岬、東端に立待岬がある。山から望む夜景はナポリ、香港とともに世界三大夜景の 1 つに数えられている。

○ STV 杯

STV は、札幌市に本社を置く札幌テレビ放送の略称。テレビは昭和 34 年開局で、NNN（日本テレビ）系列、ラジオは 37 年開局で NRN（文化放送・ニッポン放送）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 湯浜特別

湯浜（ゆのはま）は、函館市の南東部の地名。名は、湯の川温泉の海岸部であることに由来する。南は津軽海峡に面し、国道 278 号が東西に走る住宅地域。昭和 11 年に現在の湯浜町となった。

＜第4日＞

○ 下北半島特別

下北半島（しもきたはんとう）は、青森県北東部、津軽海峡に斧の形に突き出した半島。西に張り出す半島の主部には日本三大霊山の一つに数えられる恐山がある。恐山のカルデラを中心とする一帯は、下北半島国定公園に属する。

○ 北海ハンデキャップ

北海（ほっかい）は、日本列島北方の海域を指す呼び名。かつての五畿七道である東海道や南海道に倣う形で明治 2 年に蝦夷を北海道と改称した。

○ サマー 2000 シリーズ 農林水産省賞典函館記念（GⅢ）

全 5 戦で実施されるサマー 2000 シリーズの第 2 戦。

本競走は、昭和 40 年に 2400m のハンデキャップ競走として創設された重賞競走。43 年に 2000m となり、平成 6 年から別定重量戦、9 年より再びハンデキャップ戦で実施されている。

函館（はこだて）は、北海道南西部、渡島半島の南東端にある市。名は、アイヌ語の「ウス・ケシ（湾の端）」から宇須岸と呼ばれていた地に、蝦夷地へ逃れてきた津軽の豪族が館を建て、これが遠方から見ると箱の形に見えたことに由来する。イカに代表される漁業が盛ん。西洋建築群をはじめとする豊かな景観を呈し、観光地としても人気がある。

○ 渡島特別

渡島（おしま）は、北海道南西部、渡島半島南部の総合振興局。かつては松前藩の所在地でもあった。道内では温暖な地域で、その気候を生かしたトマトやかぼちゃなどの園芸作物の生産が盛んである。

<第5日>

○ 横津岳特別

横津岳（よこつだけ）は、北海道南西部、亀田郡七飯町にある火山。標高 1,167m。ハイマツやコケモモ、シラタマノキなどの約 400 種の樹木や草花が分布している。

○ 函館日刊スポーツ杯

函館日刊スポーツは、北海道日刊スポーツ新聞社より発行されているスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 駒場特別

駒場（こまば）は、函館市東部の地名。函館競馬場の所在地。明治 8 年に催された函館招魂社（現・函館護国神社）の祭典競馬が、函館における競馬の始まりとされる。その後、29 年に現在の駒場町に競馬場が建設された。

<第6日>

○ 松前特別

松前（まつまえ）は、北海道南西端、松前半島にある町。江戸時代には、最後の日本式城郭として築城された福山城（松前城）を中心に、日本最北の城下町として栄えた。北海道の郷土料理である松前漬けや、松前公園の桜が有名。

○ 函館2歳ステークス（GⅢ）

本競走は、函館競馬の2歳チャンピオン決定戦として昭和 44 年に創設された重賞競走。平成 9 年に札幌と函館の開催日程が入れ替わったことにより、世代最初の重賞競走として、早期デビュー馬が目標にするレースとなっている。

○ 潮騒特別

潮騒（しおさい）は、潮が満ちるときに寄せ来る波が立てる音。「しおざい」ともいう。函館競馬場は、JRA の中で唯一スタンドから海を臨むことができる競馬場である。